

草津市立矢倉小学校通信 令和4年5月2日 NO.2



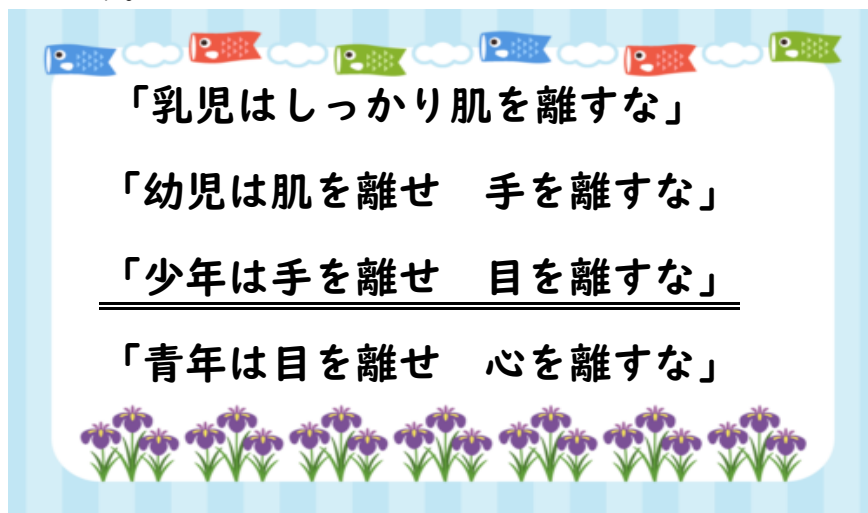
やぐら通信

～ひとみキラキラ豊かな心と体の矢倉っ子～

子どもの自立に向けて・・・子育て4訓

今年度がスタートして1か月が経ちました。昨年までの子どもの様子と少し違うところも見えてきたのではないのでしょうか。自己主張をしたり自分でやりたがるが増えたりしていませんか。親と衝突することが増えていませんか。それは、親からの「自立」への一歩ではないのでしょうか（私見ですが…）。私は、子どもたちに、「自分で考え、自分で学び、自分で判断できる力をつけてほしい」と願っています。

子育て4訓



「上記の内容は山口県で教育委員長など長く教育に携われた緒方甫さんの言葉です。」

乳児から青年になるまでに、肌を離し、手を離し、目を離し、最後は心だけが繋がっています。子どもの成長に応じて、子どもへの接し方を変えていかなければならないということです。子どもが自立していくのは嬉しいのですが、寂しいという気持ちも生まれます。

「少年は手を離せ 目を離すな」小学生の時期、子どもをしっかり見守ってください。子どもが悩んだとき、何ができるか・・・「子どもと一緒に考え、応援すること」です。最後は、「子どもが自分で考え、自分で学び、判断する」その手助けをしたいと思います。

子どもは、いろいろな経験をし、家族との時間以外にさまざまな世界が広がっていきます。その世界での経験が自立には必要です。学校だけではなく、家庭や地域の中での経験をたくさん積んでほしいです。

校長 石井 千鳥